【学校教育目標】 大浦を愛し 人とつながり 世界につながる
～真剣いっぱい・感動いっぱい・笑顔いっぱいの大浦っ子をめざして～

長崎市立大浦小学校　学校だより
令和８年９月１８日　№１１

大浦の風

長崎市立大浦小学校
校　長　河内　和人

修学旅行

９月１０日（木）、１１日（金）の１泊２日で修学旅行を実施しました。６年生は、運動会後から「総合的な学習の時間」を中心に準備や事前学習をすすめてきました。夏休み明けの実施でしたので１学期中に準備等をほとんど完了していました。そのような中、７月２８日に「令和８年熊本地震」が発生しました。発生後、旅行業者や近隣の小学校とも連絡を取り合い、その情報等をもとに校内の関係職員で協議し、旅程を一部変更して実施することとしました。「熊本城見学」を変更することになり、事前学習を終えていた子どもたちには申し訳ない気持ちでしたが、「安全・安心」を最優先し、１日目の活動を、震源から距離が離れた阿蘇方面のみといたしました。保護者の皆様におかれましては、学校としての変更の判断に対しまして、ご理解・ご了承いただき、本当にありがとうございました。

引率の中心である６年生の担任は、今回の修学旅行について「自立と共生、感謝の心を育てよう。」という目標を設定し、子どもたちへの事前指導を行っていました。２日間同行させていただきましたが、子どもたちは、常に自分たちで考えて行動することができ、目には見えない「長崎市立大浦小学校」という看板を、汚すどころか、さらに磨きをかけて持ち帰ってきました。特に、「時間を守る」ことがきちんとできていて、すべての活動を予定通りに取り組むことができました。集団行動で全員が時間を守ることは、かなり難しいことです。しかし、大浦小の６年生は、互いに声を掛け合いながら動いていたので達成できているのだと感心しました。２日間で子どもたちが一番楽しみにしていたグリーンランドでの活動も、ホテルを予定より１０分早く出発することができたので、到着が１０分早まり、園での楽しい活動を１０分間増やすことができました。



この有意義な２日間で、さらに大きく成長した６年生が、今後の学校生活に活かし、その６年生の姿が下級生に波及することを確信し期待しています。

校内研修

学校では、「子どもたちの学力向上」と「教職員の授業力向上」をめざして、校内で研修に取り組んでいます。「校内研修」と呼んでいます。

大浦小の本年度の校内研修の研究テーマは以下の示す通りです。

進んで学び、互いに高めあう児童の育成
～主体的・対話的で深い学びの
実現に向けた学習の工夫を通して～

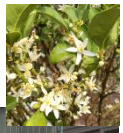
※主体的・対話的で深い学びとは、子どもたちが自分の考えを持ち、対話を通して理解を深め、知識を関連付けて活用できるようにする学び方のことです。

本年度の第１回目の研究授業を１６日（水）に３年２組にて行いました。算数の「10000 より大きな数を調べよう」の学習を、一人一台端末も活用しながら、どの子も真剣に自分で考え、それを周りの子と対話しながら交流し、さらに考えを深めていました。



キンカンの花

玄関横のキンカンの木に、白い花がたくさん咲いています。とてもいい香りが風にのって漂っています。その香りに誘われて、小さなハチやアブなどが蜜を集めにきています。２学期の終わりごろには、子どもたちと同じように実りの季節になることが今から楽しみです。





明日からの５連休、**「居留地まつり」**など地域の行事も開催されます。積極的にご参加いただくなど、有意義な５日間にしていただければと思います。